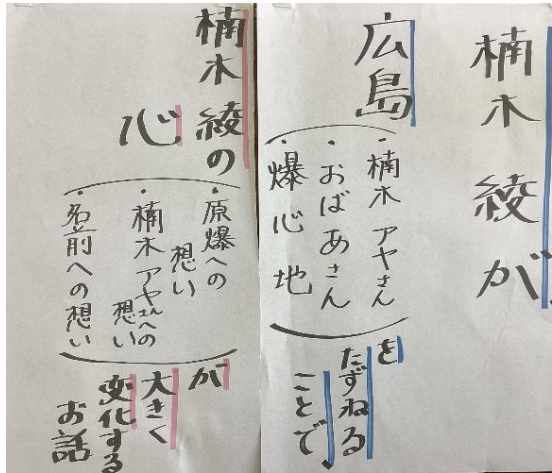


5年 「たずねびと」～「習得」編～

5年生では、物語文「たずねびと」の学習を通して「中心人物の大きな変化をもとに、作品全体から伝わってきたことをまとめる」ことを単元の目当てとして学習を進めました。本単元では、物語の展開を構造的に捉えながら、登場人物の変化を通して作品の主題に迫る読みを育てることを意図しました。



まず、物語の定義をもとにお話の内容を一文で表す活動に取り組みました。そうすることで、お話の大筋を捉えることができ、「綾はどこで、どのように大きく変化したのかに注目して読む」という明確な読みの見通しをもつことができました。

次に、綾の大きな変化に関わる出会い（もの・こと）を場面ごとに整理しました。出会いを整理することで、綾の心の動きを場面の流れの中で具体的に捉えることができました。



さらに、綾の心の大きな変化をもとに作品の山場を考え、「どこで」「どうして」「どのように」変わったのかを文章に即して話し合いました。根拠をもとに自分の考えを説明したり、友達の意見と比べて考えを深めたりする姿が見られました。

登場人物の変化やそのきっかけを丁寧に追う活動を通して、作品全体から伝わってくることを考える足掛かりを作ることができました。